

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
JAZZ 5											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	Yo-co/松GORI/suzuyaka			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
【Yo-co】 幼少よりクラシックバレエを始め、15歳からジャズダンスを学び、活動の場を東京に移し、海外、国内等の舞台に参加。現在はダンサー・振付師・インストラクターとして活動中。バックダンサーでTRF、安室奈美恵、SMAP、T.M.Revolution、TOKIO、他多数。振付は中島美嘉、一青窈、鈴木亜美、アイドリング、他 【松GORI】 加藤ミリヤ、BENI、浜崎あゆみの、きゅりーぱみゅぱみのミュージックビデオやライブでのバックダンサーやTeeのLIVE振り付けなど精力的に活躍している。 【suzuyaka】 幼少期からバレエやJAZZを始め、その後HIPHOP、Latin Danceと幅を広げる。嵐MV「未完」出演を始め、青山テルマ 屋良朝幸などのLIVEや演劇の舞台へ出演する傍ら、振付師としても9nine / Acid Black Cherry /JY /コブクロ /EXILE 等、LIVE、MV、TVの振付や映画の振付等を担当する。またシンガー、バンドと共にレストランにて自身のプロデュース公演も定期的に行っている。											
授業概要											
この科目ではJAZZダンスを修得する上で必要となる、正しいエクササイズ、ストレッチ方法を学び自分の体の作りや可動域の理解(可動域を広げる適切なストレッチを行うため)します。その上でJAZZダンスに関する基本なテクニックの修得を行います。修得したテクニックを使いクラシックダンスからのアプローチ、ポピュラーミュージックの中でのJAZZ表現など様々な音楽の中で自己を表現をする技術を修得する事を目的とします。											
到達目標											
この科目ではJAZZに必要な柔軟性や基礎技術を身に付けた上で、それぞれの個性を磨き表現者としての土台を作っていきます。多種多様な作品の中でもしっかりと技術と表現のバリエーションを持つ事、ダンサーとして必要な基礎体力や筋力を作り上げる事を目標とします。で											
授業方法											
この科目では毎回エクササイズ、ストレッチによる基礎体力作り、クロスフロアーを中心とした基本技術練習を行います。そのうえで振付けによるコンビネーションや表現練習を細かく指導していきます。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50% 50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
ジャズシューズ、なるべく体のラインが見える服装を着用する事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	Yo-co先生応用①/Yo-co先生 振付の中での表現 手、指、足先への意識の強化										
第2回	Yo-co先生応用②/Yo-co先生 振付の中での表現 体のバランスのとり方										
第3回	Yo-co先生応用③/Yo-co先生 振付の中での表現 表現方法、個性に対するアプローチ										
第4回	松GORI先生応用①/松GORI先生 体の軸の確認とターンの応用										
第5回	松GORI先生応用②/松GORI先生 リズムのとり方を意識した表現										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
JAZZ 5	
第6回	松GORI先生応用③/松GORI先生 振付を理解しグループの中で表現する
第7回	suzuyaka先生応用①/suzuyaka先生 スローテンポの振付けの中での表現
第8回	suzuyaka先生応用②/suzuyaka先生 アップテンポの振付けの中での表現
第9回	suzuyaka先生先生応用③/suzuyaka先生 ソロやペアダンスの表現
第10回	卒業公演 振付①/実習班ごとに公演用の振付前半パートを習得する
第11回	卒業公演 振付②/実習班ごとに公演用の振付後半パートを習得する
第12回	卒業公演 振付③/実習班ごとに公演用の前半パート構成を理解する
第13回	卒業公演 振付④/実習班ごとに公演用の後半パート構成を理解する
第14回	卒業公演 振付⑤/実習班ごとに公演用の全体構成、ソロパート、ペアパート、ユニゾンなど確認
第15回	レベルチェック/振付①～⑤までの精度を上げ全パートの構成を理解する